

資料1-1

平成26年度HTLV-1感染対策事業の実施状況

医療政策室
子ども子育て支援課

岩手県におけるHTLV-1感染対策について

現状と取組み

(1) 当県のHTLV-1陽性者の状況

- ア 全県における陽性者の把握方法としては、妊婦健康診査における数値を参考。
妊婦健康診査における陽性者は平成25年度19名(0.19%)、26年度19名(0.21%)となっている。
- イ 平成元年度「岩手県におけるHTLV-1の母子感染調査について」(参照:参考資料2)の研究結果、妊婦1,602名中31(1.9%)の陽性が確認されている。
- ウ 三陸の太平洋沿岸地域は、陽性者が多い地区となっている。

(2) 妊婦健康診査におけるHTLV-1抗体検査実施状況(平成21年度～)

本県では、平成21年度より全市町村で実施。(健診第1回目:妊娠初期検査に含まれる)

(3) 岩手県HTLV-1感染対策協議会設置(平成23年度～)

設置:平成24年3月21日

主な協議内容:キャリア等への医療体制、相談体制の構築、事業実施計画等

(4) HTLV-1感染予防対策医療従事者等研修会(平成24年度～)

対象:医師、保健所、助産師、看護師等

- ◆ 第1回:平成24年 9月22日(土) 内容:講演(基礎編、上級編)HTLV-1の基礎知識等
- ◆ 第2回:平成25年 9月21日(土) 内容:報告及び講演(疾患別編)「HAMの基礎知識」等
- ◆ 第3回:平成26年10月25日(土) 内容:報告及び講演「HTLV-1の基礎知識」「ATLの皮膚病変について」
- ◆ 第4回:平成27年10月10日(土) 予定 内容:報告及び講演「HTLV-1の基礎知識」「HTLV-1 感染予防 Up to date」

(5) 医療・相談支援体制の構築(目指す姿)

岩手医科大学附属病院(血液・腫瘍内科)キャリア外来、盛岡赤十字・県立病院キャリア外来、がん相談支援センター、難病連、市町村、保健所等)

(6) 保健所における抗体検査について(平成26年度から開始)

26年度実績:抗体検査数 1件(※H27年度:8月末現在 3件)

(7) 普及啓発

保健・医療従事者への普及啓発を実施(研修会の開催、会議等での周知)
県民に対する普及啓発を実施(県ホームページへの掲載)

岩手県HTLV-1感染対策事業の概要

重点施策 (国の総合対策)	厚生労働省	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
1 協議会の設置	HILV-1 対策推進協議会 (平成 23 年度設置) 開催状況 (第 8 回目: H27.3.12)	協議会設置 H24.3.21	H24.8.28	H25.8.27	H26.8.28	H27.9.15
2 感染予防対策	○妊婦の HTLV-1 抗体検査実施体制の確立 ○保健所における HTLV-1 抗体検査の導入 (専門職の相談指導)	(21 年度妊婦健診項目追加) アンケート調査実施 陽性率: % (名)	陽性率: 0.23% (21 名) 母子保健担当者 会議周知	陽性率: 0.19% (19 名)		・アンケート調査
3 相談支援	○HTLV-1 キャリアや ATL・HAM 患者に対する相談体制の構築 ⇒研修会の開催及びマニュアル等の配布。 ○精度の高い検査方法開発 ○診療体制の整備 ○診療ガイドラインの策定	・「HTLV-1 キャリア等への医療・相談体制 (目指す姿)」作成	普及 ・医療保健従事者研修会	普及	普及	普及
4 医療体制の整備						
5 普及啓発情報提供	○厚生労働省 HP にポータルサイト作成。国民への普及啓発・情報提供 ○医療関係者等への普及啓発・研修・情報提供			・県ホームページ掲載 ・「岩手県における HTLV-1 関係相談支援窓口一覧」作成	普及 ・医療機関掲載ポスター作成	普及
6 研究開発の推進	○研究の戦略的な推進 ○HTLV-1 関連疾患研究費の拡充			協力病院: 9 ヶ所		

妊婦健康診査におけるHTLV-1抗体検査の実施状況

○各市町村におけるHTLV-1抗体検査の実施状況

告示：「妊婦に対する健康診査についての望ましい基準（平成27年厚生労働省告示第226号）」

通知：「妊婦健康診査の実施について」（平成21年2月27日雇児母発0227001号雇用均等・児童家庭局母子保健課長通知）

- ・医学的検査の標準的な検査項目として「HTLV-1抗体検査」を追加し、公費負担対象とした。
- ・本県では、産婦人科医会の協力を得て、全国でも先駆けて平成21年度より全市町村で実施。
- ・上記告示に、HTLV-1抗体検査は妊娠初期に1回を目安として行うことが規定された。



時期	妊婦医療機関委託健康診査 検査時期と内容																合計
	妊娠初期～妊娠23週まで (4週間に1回)				妊娠24週～妊娠35週 (2週間に1回)						妊娠36週～出産まで (1週間に1回)						
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	全14回		
週数	8-11	12-15	16-19	20-23	24-25	26-27	28-29	30-31	32-33	34-35	36	37	38	39	全14回		
公費負担額																	
【健康診査】																	
健康状態の把握	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
問診 内診(必要に依り)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
定期検査	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
子宮底長、腹囲、浮腫	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
血圧測定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
尿検査(糖・蛋白)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
身長(初回)、体重	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
保健指導	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
【検査】																	
血液検査	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
血液一般	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
血糖	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
妊娠初期検査	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ABO血液型	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
Rh血液型	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
間接クーラムス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
梅毒血清検査	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
B型肝炎抗原	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
C型肝炎抗体	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
HTLV抗体価	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
HTLV-1抗体(ATL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
HTLV-2抗体	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
風疹	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
超音波検査	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
細菌培養同定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
性器クラミジア	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
【子宮頸がん検診】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		

妊婦一般健康診査受診票は、県産婦人科医会と協議し、県で参考様式を示している。各市町村で独自に項目を追加している。

様式 1 (市町村) 妊婦一般健康診査受診票 第1回

委託医療機関の長様
下記妊婦の一般健康診査を依頼します。平成 年 月 日 (市町村) 長 印

母子健康手帳番号 交付番号

妊婦氏名 生年月日 S・H 年 月 日(歳)

住所 市町村一

電話 () () 出産予定日 平成 年 月 日

本人記入欄
 1 体調は良好ですか。 良好 不良(口出血・口痛み・口その他)
 2 タバコ 喫煙 喫煙していない
 3 お酒を 飲む 飲まない
 4 今の気 口通 口通 口通 不安である その他
 5 相談したいことはありますか。 なし あり()

受診年月日 平成 年 月 日 妊娠週数 妊娠 週

《子エツツ腫》実施した項目に○を記入してください。
 尿検査 尿蛋白 血糖 血圧 尿糖
 血液検査等 ※下記参照 HTLV-1抗体

《記入欄》検査結果を記入してください。
 HTLV-1抗体検査 ー ・ 十

《連絡事項》
健康診査結果 あてはまる項目に○をつけてください。
 (1) 異常なし (2)~(4)の内容を具体的に記入してください。
 (2) 要指導 (3) 要精密検査 (4) 要治療

所見及び今後の処置
市町村の保健指導の必要性 あてはまる項目に○をつけてください。
 不要 必要 必要な保健指導の内容を具体的に記入してください。

委託医療機関名 氏名 印

(注)
 1. 妊婦一般健康診査を受けるときは、この票及び母子健康手帳を必ず医療機関にお渡しください。
 2. この票は、初めて受ける妊婦健診でご利用ください(11週までの受診が望ましい)。
 3. この健診票では、次の検査等にかかる費用が公費負担されます。
 胎前、血圧測定、体重測定、尿一般検査、尿糖指導、スクリーニングを目的とした胎前血液検査
 血尿一般、血糖、ABO血液型、Rh血液型、間接クーラムス、梅毒血清検査、B型肝炎抗原
 C型肝炎抗体、HIV抗体、HTLV-1抗体、トキソプラズマ抗体、風疹、德國麻疹(クラミチルス・ノコソフ)

4. その他の検査や治療にかかる費用は自己負担となります。
 5. この票は、本人以外は使用できません。
 6. この票は、県内の産婦人科医療機関で使用できますが、他市町村に転出された場合は使用できません。
 転出先の市町村から書送交付を受けてください。

県の参考様式

様式 1 (市町村) 妊婦一般健康診査受診票 第1回

委託医療機関の長様
下記妊婦の一般健康診査を依頼します。平成 年 月 日 (市町村) 長 印

母子健康手帳番号 交付番号

妊婦氏名 生年月日 S・H 年 月 日(歳)

住所 市町村一

電話 () () 出産予定日 平成 年 月 日

本人記入欄
 1 体調は良好ですか。 良好 不良(口出血・口痛み・口その他)
 2 タバコ 喫煙 喫煙していない
 3 お酒を 飲む 飲まない
 4 今の気 口通 口通 口通 不安である その他
 5 相談したいことはありますか。 なし あり()

受診年月日 平成 年 月 日 妊娠週数 妊娠 週

《子エツツ腫》実施した項目に○を記入してください。
 尿検査 尿蛋白 血糖 血圧 尿糖
 血液検査等 ※下記参照 HTLV-1抗体

《記入欄》検査結果を記入してください。
 HTLV-1抗体検査 ー ・ 十

《連絡事項》
健康診査結果 あてはまる項目に○をつけてください。
 (1) 異常なし (2)~(4)の内容を具体的に記入してください。
 (2) 要指導 (3) 要精密検査 (4) 要治療

所見及び今後の処置
市町村の保健指導の必要性 あてはまる項目に○をつけてください。
 不要 必要 必要な保健指導の内容を具体的に記入してください。

委託医療機関名 氏名 印

(注)
 1. 妊婦一般健康診査を受けるときは、この票及び母子健康手帳を必ず医療機関にお渡しください。
 2. この票は、初めて受ける妊婦健診でご利用ください(11週までの受診が望ましい)。
 3. この健診票では、次の検査等にかかる費用が公費負担されます。
 胎前、血圧測定、体重測定、尿一般検査、尿糖指導、スクリーニングを目的とした胎前血液検査
 血尿一般、血糖、ABO血液型、Rh血液型、間接クーラムス、梅毒血清検査、B型肝炎抗原
 C型肝炎抗体、HIV抗体、HTLV-1抗体、トキソプラズマ抗体、風疹、德國麻疹(クラミチルス・ノコソフ)

4. その他の検査や治療にかかる費用は自己負担となります。
 5. この票は、本人以外は使用できません。
 6. この票は、県内の産婦人科医療機関で使用できますが、他市町村に転出された場合は使用できません。
 転出先の市町村から書送交付を受けてください。

市町村独自に項目を追加

保健指導記載欄(医師記載)

○産科医療機関におけるHTLV-1抗体検査の実施状況について

	平成25年度	平成26年度
健診初回受診者(人)	9,853	8,844
陽性者数 (人)	19 (判定保留1名含む)	19 (判定保留3名含む)
陽性率 (%)	0.19	0.21

(H27.9 子ども子育て支援課調べ)

県産婦人科医学会のご協力のもと、県内35産科医療機関へ、郵送でアンケート調査を実施。

【調査期間】 平成27年8月1日～8月24日

【回収率】 100%(35産科医療機関)

【調査内容】 陽性者及び判定保留の人数・住所地・栄養方法の選択
母子感染コホート研究協力病院との連携 等
(※調査内容については、別添調査票参照。)



妊婦健康診査におけるHTLV-1抗体検査の実施状況調査

【調査内容】

- 1 調査目的：平成26年度の県内における妊婦のHTLV-1感染の状況を把握し、感染対策の推進を図るための基礎資料とする。
- 2 調査方法：県内産科医療機関（分娩取扱施設）を対象に、調査票を郵送により送付。記入式。
- 3 調査期間：平成27年8月1日～8月24日
- 4 調査項目：平成26年度におけるコホート研究の認知状況、スクリーニング検査及び確認検査の実施、陽性及び判定保留妊婦数及び対応等8項目

（ ※本調査は、県産婦人科医学会の御協力のもと、平成23年度から継続実施。）

【調査結果概要】（回収率100%）

- コホート研究登録事業は、8施設が「知らない」と回答。県内の研究協力施設について、9施設が「知らない」、キヤリア外来は、10施設が「知らない」との回答があった。
- 県内の妊婦健康診査（1回目）を受診した妊婦は8,844人であり、スクリーニング検査陽性妊婦は33名（0.37%）であった。
- スクリーニング検査陽性者に対し、確認検査を実施している施設は、協力病院以外で8施設あった。
- 確認検査実施施設で、陽性者16人、判定保留3人（計19人）であり、妊婦健康診査における陽性率（判定保留含む）は、0.21%であった。
- 協力病院において「他の産科医療機関から紹介され、確認検査を実施した施設」は0件であった。
- 「協力病院に紹介せず、自院で分娩を対応」及び「一時協力病院に紹介し、分娩は自院」と回答した協力病院以外の施設は7施設あり、その理由として、「経産婦でこれまでに協力病院から指導済」「患者の希望」「協力病院までの通院が困難」「判定保留のため紹介しなかった」等の回答があった。
また、「児の抗体検査については、特に指導なし」「小児科がないため児のフォローをしていない」との回答も2施設からあった。
- 新生児の栄養方法としては（複数回答）、完全人工栄養が最も多かった。

HTLV-1感染予防対策医療従事者研修会開催状況

- 目的: HTLV-1感染予防に携わる医療従事者が、岩手県における課題と対策の方向性を情報共有し、自ら取り組むべき役割を認識することにより、感染予防対策やキャリアへの相談支援体制の充実を図る。
- 主催: 岩手県
- 後援: 岩手県医師会、岩手医科大学附属病院
- 日程等: 平成26年10月25日(土) 13:00～16:40
- 対象者: 医療従事者
- 参加者数: 55名(医師18名、保健師19名、助産師3名、看護師13名、患者家族1名、その他1名)
- 内容等: 【報告】

「岩手県における医療と行政が連携したHTLV-1対策について」

説明者: 岩手県保健福祉部 医療政策室感染症担当

【講演】

「HTLV-1の基礎知識」

講師: 岩手医科大学 内科学講座血液・腫瘍内科分野

准教授 伊藤 薫樹 先生

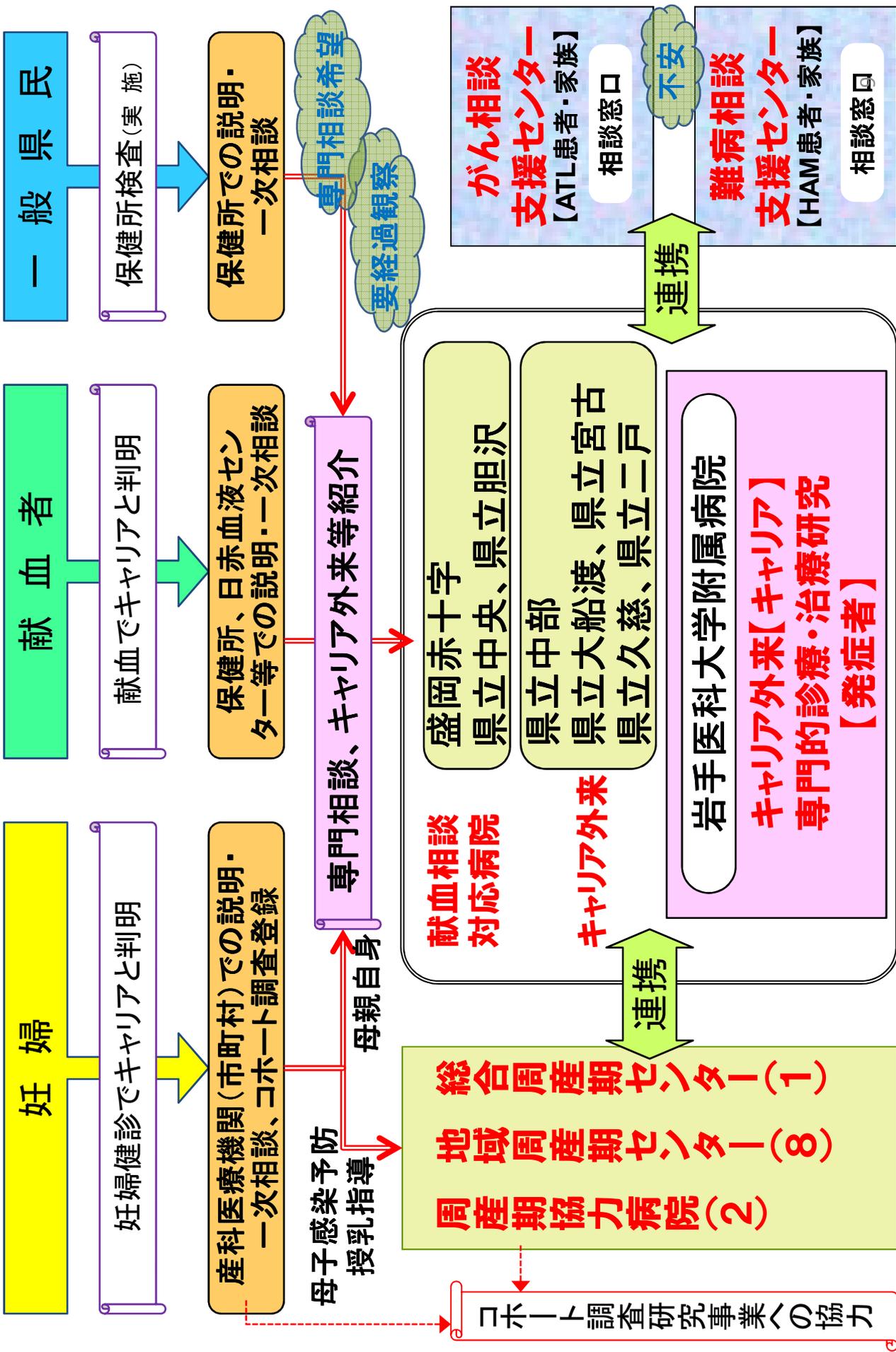
【特別講演】

「ATLの皮膚病変について」

講師: 岩手医科大学 皮膚科学講座

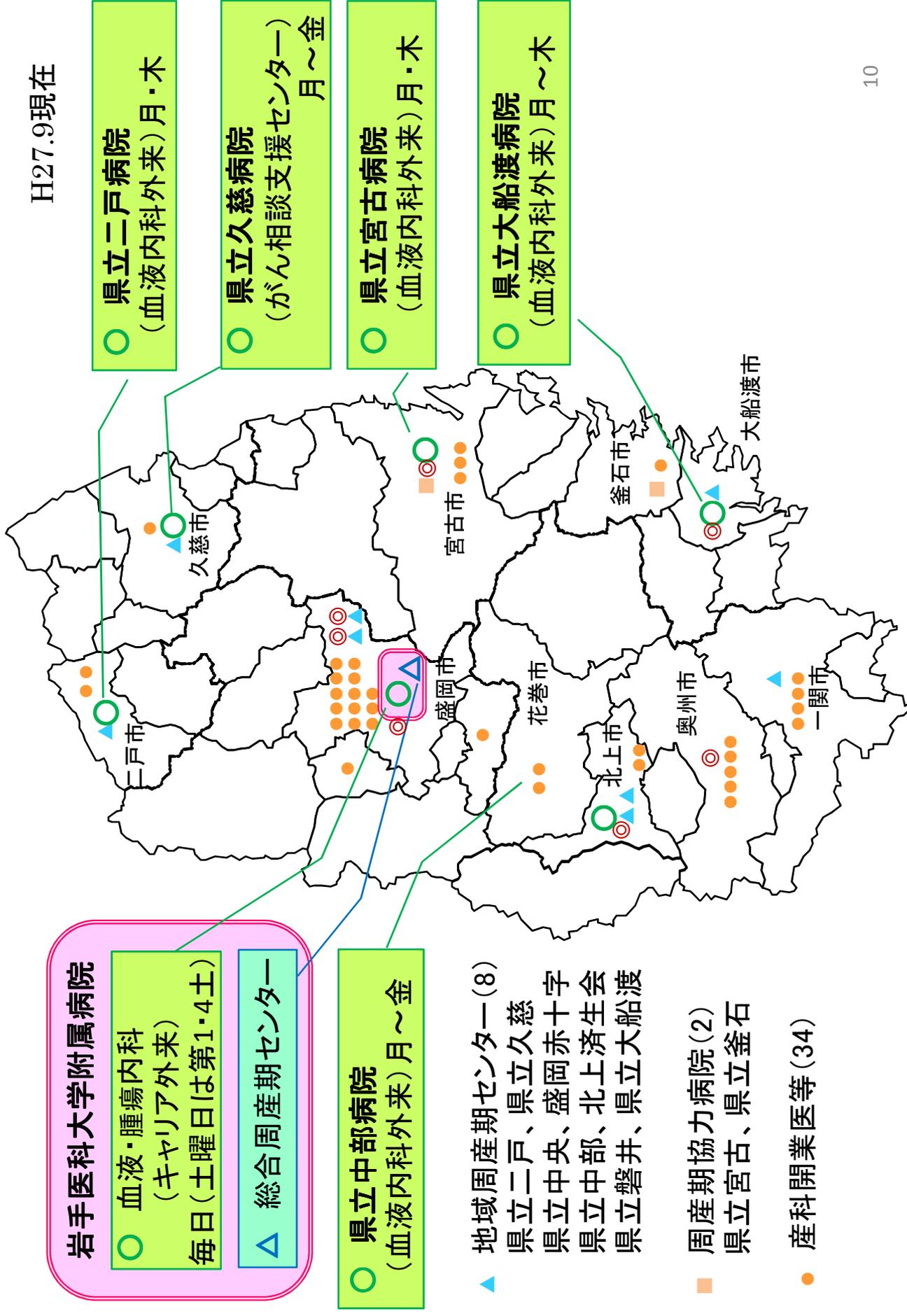
教授 赤坂 俊英 先生

HTLV-1キャリア等への医療・相談支援体制（目指す姿）



HTLV-1キャリアアに関わる医療機関の分布図

H27.9現在



保健所におけるHTLV-1抗体検査の実施について

○特定感染症検査事業

- ・平成23年度から、特定感染症検査事業において、HTLV-1抗体検査を国庫補助の対象項目として追加した。

- ◆性感染症(性器クラミジア感染症、性器ヘルペス感染性、尖圭コンジローマ、梅毒、淋病感染症の5疾患)に関する検査及び相談事業
- ◆HTLV-1に関する検査及び相談事業
- ◆HIV抗体検査及び後天性免疫不全症候群に関する相談事業
- ◆HBs抗体検査、HCV抗体検査及び肝炎ウイルスに関する相談事業

→検討を重ね、平成26年度より、県保健所においてHTLV-1抗体検査を開始
市町村及び各医療機関に周知。
保健師等による相談を実施し、必要に応じ抗体検査を実施する体制確保。

相談受理状況①

○26年度実績 1 市町村・保健所

(1) 相談件数 (平成27年6月: 県内各市町村母子保健担当課へアンケート調査実施、各保健所については、**定例報告により医療政策室で把握。**)

	相談件数(実/延)	再掲(ATL, HAM)
市町村(33ヶ所)	1 / 1	(ATL 0件、HAM 0件、その他0件)
保健所(9ヶ所)	9 / 9	(ATL 2件、HAM 0件 その他7件)

(2) 相談手段

電話等

(3) 相談対応者(職種)

保健師

(4) 主な相談内容

- ・妊婦健診で陽性と判明し、その母親からの感染を疑われ相談。
- ・献血で陽性通知。専門医療機関について知りたい。
- ・親戚がATL心配になったので相談したい。
- ・ニュースでHAMの報道を見て、自分の症状と似ていたので、相談したい。

(5) 今後の相談体制の要望等(自由記載)

- ・HTLV-1抗体検査を妊婦一般健康診査第1回目で実施し、結果が記載されて受診票が市町村に返却されているが、陽性に妊婦へ説明した際、必要に応じて「いーはとーぶ(岩手県周産期医療情報ネットワーク)」で連携情報による連絡がいただきたい。
- ・出産後の退院時、どのような指導を病院で行ったのかを教えて頂けると、妊産婦に対する行政の対応もしやすい。
- ・相談件数が非常に少なく、相談が入った場合の適切な支援のつなぎ方、また、情報提供にも支援者の知識不足が否めない。
- ・厚労省コホート研究に登録されており、短期母乳法を選択されていた方が1件ありましたが、担当医よりご指導いただきながら対応させていただきました。

【参考】市町村・保健所母子保健担当者会議

3 HTLV-1（ヒトT細胞白血病ウイルス1型）母子感染対策について

- 平成 23 年度から母子保健医療対策等総合支援事業の「生涯を通じた女性の健康支援事業」の一部として、「HTLV-1 母子感染対策事業」を実施している。
- 本県においては、平成 23 年度に「**岩手県 HTLV-1 母子感染対策協議会**」を設置（平成 25 年度に「HTLV-1 感染対策協議会」に改稱）し、現状や、キャリアに対する医療・相談体制の整備等について検討を行っている。（資料 No.9）
- 妊婦健康診査における HTLV-1 抗体検査陽性率（判定保留含む）については、平成 23 年度以降、毎年度、県産婦人科医学会の協力を得て、産科医療機関あてアンケート調査を実施し把握しているところであり、今年度についても実施を予定している。
- 保健所では、国で示している「HTLV-1 総合対策」に基づき、キャリアに対する相談指導の実施が求められており、**26 年度から各保健所（県）において HTLV-1 抗体検査を実施している。**（担当：医療政策室）
- 市町村では、妊婦健康診査において HTLV-1 抗体検査を実施していることから、被検査者やキャリアに対する相談対応が求められる。
- 市町村、保健所における相談技術の向上を図るため、平成 24 年度から医療従事者等研修会を開催しているが、今年度についても研修会を開催予定としている。（時期：調整中。本庁医療政策室と共催）

国の動き

【HTLV-1 特命チーム】

平成 22 年 9 月、総理官邸に HTLV-1 特命チームが設置され、HTLV-1 母子感染予防対策として、妊婦健康診査における HTLV-1 抗体検査の実施、母子感染予防のための保健指導やカウンセリング体制づくりを行うことが決定。平成 22 年 12 月には、医療体制の整備や研究開発の推進を含めた総合対策がとりまとめられた。

1 妊婦健診における HTLV-1 抗体検査の実施

- 平成 22 年 10 月 6 日付けで、通知を改正、発出。
 - HTLV-1 抗体検査を、妊婦健康診査の標準的な検査項目に追加
 - HTLV-1 抗体検査を、妊婦健康診査臨時交付金に基づく公費負担の対象となるよう、補助車価（妊婦 1 人当たり）の上限額を改定
- 平成 22 年 11 月 1 日付けで、自治体及び関係団体に対し、抗体検査の実施方法等について通知
- 平成 27 年 3 月 31 日付けで、妊婦に対する健康診査について望ましい基準（平成 27 年厚生労働省告示第 226 号。）を公布。この告示の制定及び通知（平成 27 年 4 月 1 日付け雇児母発 0401 第 1 号厚生労働省労働局雇用等・児童家庭局母子保健課長通知）により、HTLV-1 抗体検査の取扱いは下記のとおりとされた。

【妊婦健康診査の内容等】

- 市町村は、必要に応じた医学的検査を妊娠期間中の適切な時期に実施するものとすること。
- HTLV-1 抗体検査：妊娠初期から妊娠 30 週までの間に 1 回
- HTLV-1 母子感染対策予防対策（実施主体：国）
保健指導・カウンセリングの体制づくりとして、以下を実施。
 - マニュアル（医師向け、保健師等向け）の配布
 - HTLV-1 対策全国研修会の実施
- HTLV-1 母子感染対策協議会（実施主体：都道府県）
 - HTLV-1 抗体検査、保健指導、カウンセリング体制の検討・実施状況の把握
 - 関係職員への研修・普及啓発等

市町村への依頼事項	○ 妊婦健康診査における HTLV-1 抗体検査結果については、産科医療機関において、母子健康手帳に結果が記載されることから、各種健診や訪問指導等での確認及び相談対応等お願いしたい。 ○ キャリア等への相談対応。
保健所への依頼事項	○ キャリア等への相談対応。
【共通】	○ 相談担当者等を対象とした HTLV-1 に関する研修会への出席。
依頼事項	○ マニュアル等については、厚生労働省 HP に掲載されている資料を活用願いたい。

○子ども子育て支援課主催で開催。（毎年度）
平成24年度以降、事業について周知。

【平成27年度開催状況】

日時： 5月29日（金）10:00～12:00
場所： 県水産会館 大会議室
出席者数： 市町村49名、保健所13名

●岩手型母子健康手帳

P10(検査の記録)HTLV-1抗体検査結果記入

※「検査結果を記録する場合は、妊婦に説明し同意を得ること」の注意事項を記載している。



相談受理状況②

2 岩手県難病相談・支援センター

◆平成26年度 相談事業実績(疾患別:HAMに関する相談)

相談件数: 51 件 (内訳:患者 45件、その他 5件、メール相談 1件)

主な相談内容:日常生活の注意点(29件)

医療(6件)

就労(7件)

難病団体に関すること(9件)

◆患者会

アトムの会岩手支部(設立:平成15年12月20日)
会員数 4名 (患者2名、支援者2名)

(※平成25年1月 NPO法人「スマイルリボン」へ名称変更(全国)。HAM患者会、ATL患者会、キャリアママの会統合)



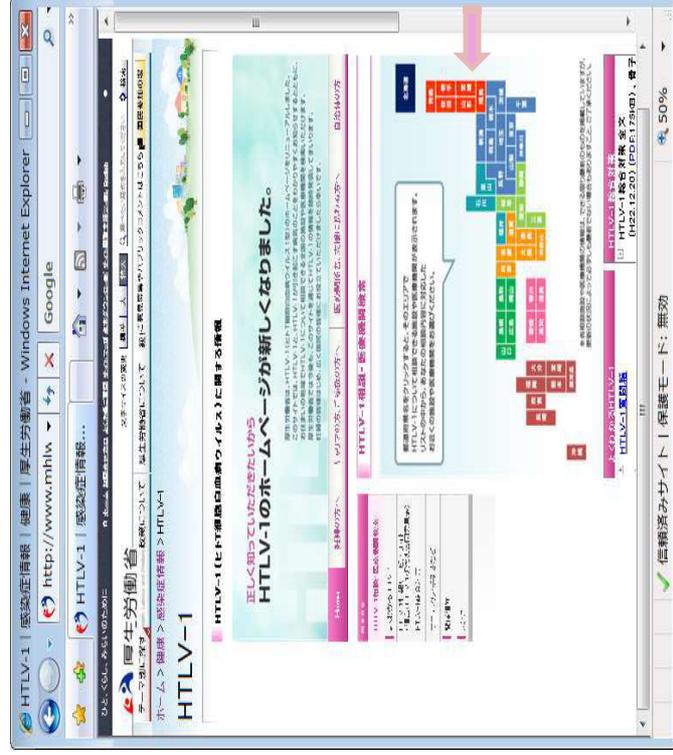
県内相談窓口

○厚生労働省ホームページ

「HTLV-1(ヒトT細胞白血病ウイルス1型)に関する情報HTLV-1」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou29/>

＜相談・医療機関検索＞



◆県内の相談窓口◆

○がん相談支援センター
(岩手医科大学附属病院、県立病院8ヶ所)

○難病相談支援センター

○県内9保健所、盛岡市保健所